



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月5日

上場会社名 不二ラテックス株式会社

上場取引所 東

コード番号 5199 URL <https://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 安弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 金原 辰弥

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,103	1.1	194	19.1	184	16.2	130	15.2
2022年3月期第1四半期	2,080		240		220		153	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 148百万円 (6.0%) 2022年3月期第1四半期 157百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	102.81	
2022年3月期第1四半期	121.17	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。
2022年3月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	11,947	3,182	26.6
2022年3月期	11,807	3,098	26.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,182百万円 2022年3月期 3,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				50.00	50.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,060	1.3	247	41.9	239	41.5	166	22.3	130.87
通期	8,100	0.6	500	5.5	460	5.4	320		252.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,286,199 株	2022年3月期	1,286,199 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	17,865 株	2022年3月期	17,738 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,268,396 株	2022年3月期1Q	1,268,643 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、供給制約や原材料価格の高騰などによる下振れリスクが懸念され、製造業においては景況感が後退、非製造業では改善と二極化の傾向となりました。

世界経済については、新型コロナウイルス感染症の流行による経済的打撃をロシアによるウクライナ侵攻が増幅し、インフレの急速な進行と経済成長の停滞が長引きかねない状況にあり、スタグフレーションのリスクが高まっております。

このような状況の下、当社は前年度の好調な売上高を継続することに注力し、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,103百万円と前年同四半期に比べ22百万円(1.1%)の増加となりました。

また、営業利益については、増収による増益効果に対して、利益率の高い精密機器事業の売上構成比が低下したことや部材高騰の影響が一部顕在化したことによる原価率の上昇が上回り、194百万円と前年同四半期比で45百万円(△19.1%)の減益、経常利益は営業外収支の改善もあり、184百万円と前年同四半期比で35百万円(△16.2%)の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は130百万円と前年同四半期比で23百万円(△15.2%)の減益となりました。

各セグメントの業績は次に示すとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益または営業損失に基づいております。

① 医療機器事業

主力のコンドームは、前期対比で海外向けが伸びたほか、新素材コンドームSKYNの売上が好調に推移しました。また、メディカル製品は欧州向けの販売が好調で事業売上を牽引しました。

利益面では不採算製品の見直し、生産歩留まりの向上、販売費節減へ継続的に取り組み一定の成果がみられました。また、メディカル製品につきましては、生産部門・販売部門一体となった効率化、費用削減、生産歩留まり向上策により、前期比増益となりました。

この結果、売上高は625百万円と前年同四半期に比べ80百万円(14.8%)の増加となりました。

セグメント損益は、主にコンドーム在庫の洗替評価実施に伴う原価増要因により、10百万円の損失(前年同四半期は19百万円の損失)となりました。

② 精密機器事業

精密機器事業は前期が非常に好調だったこともあり減収となりました。依然として続く半導体不足や、中国のロックダウンの影響による世界的な設備投資停滞傾向や一般産業機械市場の低迷が背景にあります。世界的な供給制約問題に端を発するサプライチェーンや納期問題を受けて、受注自体は依然として高い水準で推移しております。また、海外向け直接取引では欧州を中心に好調な販売が続きました。

利益面では売上減少に伴う減益に加えて、原材料費高騰による製造費用の上昇等に伴う利益圧迫要因が大きく、原価率は、社内計画値を達成しているものの前期実績対比では上昇しました。

この結果、売上高は1,309百万円と前年同四半期に比べ97百万円(△7.0%)の減少となりました。

セグメント利益は、293百万円と前年同四半期に比べ72百万円(△19.7%)の減益となりました。

③ SP事業

前年と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響は屋外利用を想定した販促市場向けで残るものの、主力取引先での需要回復や新商品の投入効果もあり、主力品のゴム風船及びフィルムバルーンの売上が好調に推移いたしました。

この結果、売上高は100百万円と前年同四半期に比べ23百万円(30.6%)の増加となりました。

セグメント利益は、3百万円の利益(前年同四半期は2百万円の損失)となりました。

④ 食品容器事業

主力取引先における季節商品やネット販売が好調に推移したことにより、売上高は67百万円と前年同四半期に比べ16百万円(31.4%)の増加となりました。

セグメント利益は、前期発生した設備投資・修繕等の一時的要因が今期は解消したこともあり、21百万円と前年同四半期に比べ10百万円(93.7%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、11,947百万円となり前連結会計年度末と比べ139百万円増加しました。主な増加要因は、現金及び預金の174百万円などであり、主な減少要因は、受取手形及び売掛金の98百万円などであります。

負債総額は8,764百万円となり、前連結会計年度末と比べ55百万円増加しました。主な増加要因は、支払手形及び買掛金の124百万円などであり、主な減少要因は、未払法人税等の96百万円などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月13日公表の2022年3月期決算短信の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,905,060	2,079,132
受取手形及び売掛金	1,904,957	1,806,282
電子記録債権	561,528	579,519
商品及び製品	519,724	572,393
仕掛品	615,852	569,361
原材料及び貯蔵品	730,104	807,041
その他	69,819	93,779
貸倒引当金	△40	△45
流動資産合計	6,307,005	6,507,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,508,797	2,469,382
土地	1,777,096	1,777,096
その他(純額)	620,609	584,147
有形固定資産合計	4,906,503	4,830,626
無形固定資産	46,404	45,009
投資その他の資産	536,935	554,108
固定資産合計	5,489,842	5,429,745
繰延資産	10,762	9,919
資産合計	11,807,610	11,947,130
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	302,434	426,710
電子記録債務	975,539	1,016,421
短期借入金	2,893,000	2,962,000
1年内償還予定の社債	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	361,332	341,332
未払法人税等	163,403	66,812
賞与引当金	198,411	279,073
その他	580,248	577,524
流動負債合計	5,674,368	5,869,873
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	1,930,188	1,859,855
退職給付に係る負債	69,253	68,378
その他	635,381	566,167
固定負債合計	3,034,823	2,894,400
負債合計	8,709,191	8,764,274

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	1,852,738	1,919,725
自己株式	△39,921	△40,183
株主資本合計	2,704,280	2,771,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75,972	85,695
土地再評価差額金	288,295	288,295
為替換算調整勘定	20,204	28,839
退職給付に係る調整累計額	9,666	9,021
その他の包括利益累計額合計	394,138	411,851
純資産合計	3,098,418	3,182,855
負債純資産合計	11,807,610	11,947,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	2,080,869	2,103,119
売上原価	1,506,242	1,582,807
売上総利益	574,627	520,311
販売費及び一般管理費	334,349	325,991
営業利益	240,277	194,319
営業外収益		
受取利息	40	1
受取配当金	2,879	3,448
受取賃貸料	3,318	3,399
為替差益	—	3,131
その他	539	745
営業外収益合計	6,777	10,726
営業外費用		
支払利息	17,757	15,197
賃貸費用	992	991
シンジケートローン手数料	1,874	1,874
為替差損	4,465	—
その他	1,561	2,202
営業外費用合計	26,651	20,266
経常利益	220,403	184,779
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	—	523
特別損失合計	0	523
税金等調整前四半期純利益	220,403	184,256
法人税、住民税及び事業税	89,984	59,901
法人税等調整額	△23,312	△6,055
法人税等合計	66,671	53,845
四半期純利益	153,731	130,410
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,731	130,410

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	153,731	130,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,035	9,722
為替換算調整勘定	6,953	8,634
退職給付に係る調整額	△1,016	△644
その他の包括利益合計	3,901	17,712
四半期包括利益	157,633	148,122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	157,633	148,122
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P 事業	食品容器 事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	545,150	1,407,309	77,250	51,159	2,080,869	—	2,080,869
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	545,150	1,407,309	77,250	51,159	2,080,869	—	2,080,869
セグメント利益 又は損失(△)	△19,257	365,973	△2,052	11,017	355,681	△115,403	240,277

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△115,403千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P 事業	食品容器 事業			
売上高							
外部顧客への 売上高	625,661	1,309,374	100,877	67,205	2,103,119	—	2,103,119
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	625,661	1,309,374	100,877	67,205	2,103,119	—	2,103,119
セグメント利益 又は損失(△)	△10,322	293,877	3,308	21,346	308,209	△113,889	194,319

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△113,889千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「医療機器事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は523千円であります。